



ありたい姿から始める農村RMO



20250904中央研  
弘前大学平井太郎



# ありたい未来への行き着き方を探る

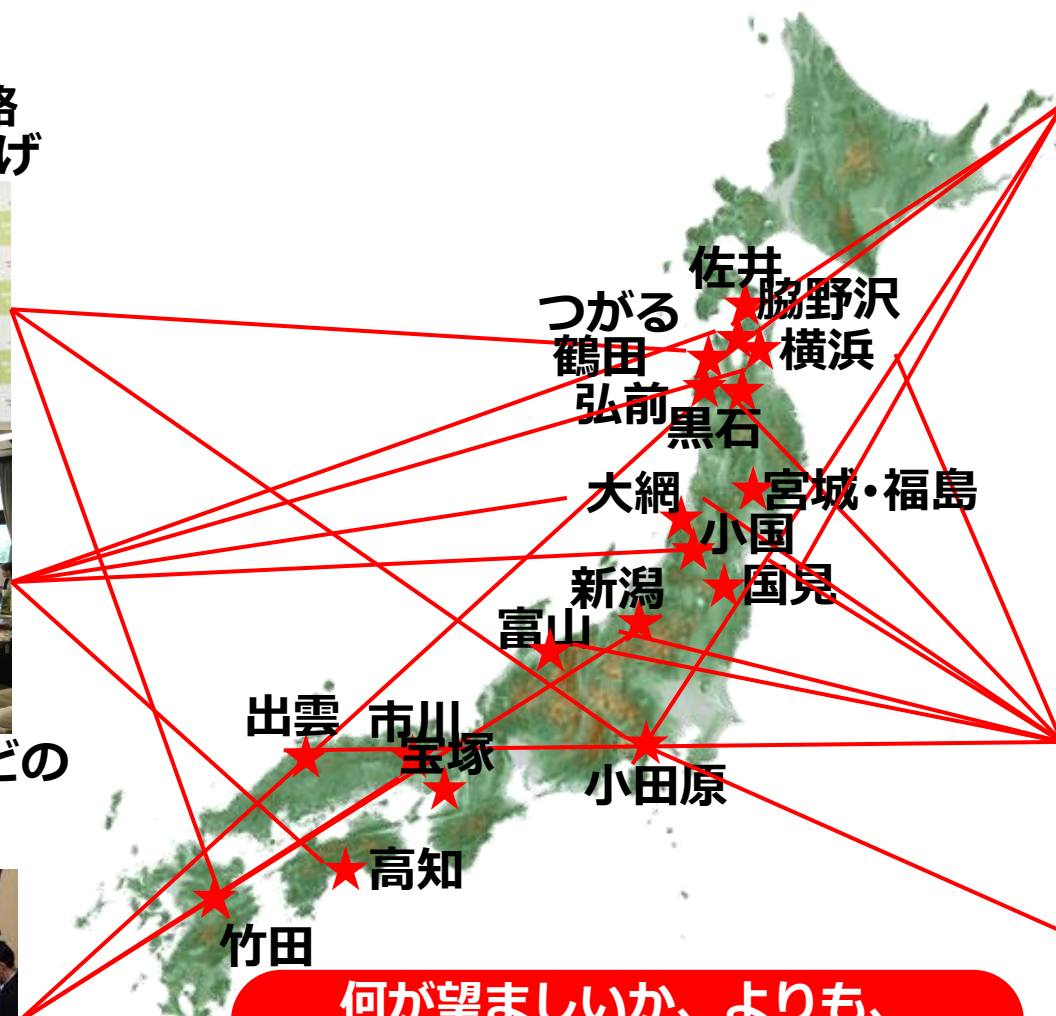
総合計画・総合戦略  
ビジョンと積み上げ



旧学校・空き家などの  
再生(管理構想)



移住者・関係人口  
との共創(協力隊)



伝統行事の継承  
(歴史まちづくり)

持続可能な生業  
(農村RMO  
・みどりシステム)



何が望ましいか、よりも、  
どうしたらありたい未来が、  
現場の実践actionから  
生み出せるかを研究research  
年間50件ほどワークショップ



失われた世代の  
みかん農家





食料・農業・農村基本法の改正を踏まえ、食料安全保障の強化、環境と調和のとれた食料システムの確立、農業の持続的な発展、農村の振興等を図るため、農業の構造転換の実現に向けた施策を初動の5年間で集中的に実行するとともに、農林水産業の持続可能な成長を推進するための農林水産予算を要求

**総額 2兆6,389億円（2兆2,686億円）**

※（ ）内は令和6年度当初予算額

## 1 食料安全保障の強化

- 水田での戦略作物の本作化・畑地化、麦・大豆の作付拡大やブロックローテーション、保管施設の整備、商品開発、米粉の利用拡大等の取組を推進

**水田活用の直接支払交付金等**  
3,015億円（3,015億円）等

## 2 農業の持続的な発展

- 地域計画により、地域が置かれている状況や抱える課題が見える化されることから、**地域計画を核として、現場の状況に応じた事業を総合的に実施**することで、**地域計画の実現を強力に後押し**

地域計画実現総合対策  
482億円  
・新基本法実装・農業構造転換支援事業（強い農業づくり総合支援交付金）  
202億円（121億円）の内数  
・農地利用効率化等支援交付金  
27億円（11億円）の内数 等

農業の構造転換を実現するための  
・共同利用施設の新設・再編や  
・担い手の農地引受力の向上に必要な機械等の導入  
を図る事業を充実・強化

- **新規就農者の育成・確保**、雇用労働環境の整備、農地バンク等による農地の集積・集約化、サービス事業体の活用

新規就農者育成総合対策  
149億円（96億円）等

- **スマート農業技術活用促進法に基づくスマート農業技術の社会実装の加速化を強力に推進**するため、**各種事業により集中的に支援**

スマート農業技術活用促進集中支援プログラム  
410億円  
・スマート農業技術活用促進総合対策  
70億円（12億円）  
・スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート事業  
32億円（0.5億円）等

・生産性の飛躍的向上に資するスマート農業技術や新品種の開発、スタートアップへの総合的支援  
・サービス事業体による農産物の生産・流通等の方式を転換するモデル的な取組やサービス事業体の育成・活動の促進を支援



### 3 農村の振興（農村の活性化）



- **官民共創、農泊・農福連携等の地域資源を活用した付加価値の創出、農村RMOの形成、棚田地域の振興、中山間地域等の農用地保全の推進** 農山漁村振興交付金 104億円（84億円）
- **ICT等を活用したスマート鳥獣害対策の推進やシカ・クマの捕獲対策の強化など鳥獣被害防止対策の推進と更なるジビエ利活用の拡大** 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進 123億円（100億円）

### 4 みどりの食料システム戦略による環境負荷低減に向けた取組強化

- **環境負荷低減や気候変動等に対応する新品種・技術の開発等を実施するとともに、研究成果の社会実装に向けた環境整備を一体的に推進** みどりの食料システム戦略実現 技術開発・社会実装促進事業 31億円（18億円）
- **地球温暖化防止や生物多様性等に効果の高い営農活動への支援（有機農業について単収が低く不安定な移行期を重点的に支援）** 環境保全型農業直接支払交付金 31億円（26億円）
- **グリーンな栽培体系への転換の加速化、有機農産物の生産・需要拡大、環境負荷低減の取組を支援する新制度構築に向けた調査、環境負荷低減の「見える化」やJ-クレジットを通じた関係者の行動変容、理解醸成** みどりの食料システム戦略推進 総合対策 35億円（7億円）

### 5 多面的機能の発揮

- **地域資源を適切に保全管理するための共同活動への支援（活動組織の体制強化、地域共同で行う環境負荷低減の取組の促進）** 多面的機能支払交付金 512億円（486億円）
- **中山間地域等での農業生産活動継続への支援（集落協定のネットワーク化、スマート農業による作業の省力化への加算の充実）** 中山間地域等直接支払交付金 301億円（261億円）

**地域計画、畑地化、クロスコンプライアンス、有機農業、給食提供、畦畔草刈、泥上げ、多面、中山間、スマート農業、ドローン、神刈、カルガモくん、ジビエ、農泊、漬物許可、サービス事業体...**

**さまざまな施策・規制を受けとめ交わす武器として期待される農村RMO  
やらされ感でやるよりは、この際地域のありたい姿を実現する機会にしたい！**

## 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業 実施状況

R6.1.22 時点

## 中国四国

## 島根県（7地区）

- ① 和田地区まちづくり推進委員会（浜田市）
- ② 今福まちづくり委員会（浜田市）
- ③ 佐田地域づくり協議会（出雲市）
- ④ 久利・大屋地区小さな拠点推進協議会（大田市）
- ⑤ 池田集落協定運営委員会（大田市）
- ⑥ 躍動と安らぎの里づくり鍋山（雲南市）
- ⑦ 出羽地区運営協議会（邑南町）

## 岡山県（1地区）

- ⑧ 吉緑起村協議会（真庭市）

## 広島県（3地区）

- ⑨ 石原集落地域振興協議会（三次市）
- ⑩ 田幸地区町内会連合会（三次市）
- ⑪ 庄原市山内集落地域振興協議会（庄原市）

## 徳島県（3地区）

- ⑫ 加茂谷RMO推進協議会（阿南市）
- ⑬ 椿町農村RMO運営組織協議会（阿南市）
- ⑭ 赤松地区農村RMO推進協議会（美波町）

## 愛媛県（1地区）

- ⑮ 奥松瀬川地区農村活性化協議会（東温市）

## 高知県（4地区）

- ⑯ 本山町農村みらい会議（本山町）
- ⑰ 明るい柳野を創る会（いの町）
- ⑱ 集落活動センター「四万川」推進委員会（橘原町）
- ⑲ （一社）三原村集落活動センターやまびこ（三原村）

## 九州

## 長崎県（1地区）

- ⑳ 根獅子・飯良まちづくり運営協議会（平戸市）

## 熊本県（2地区）

- ㉑ 菊鹿さきもり隊（山鹿市）
- ㉒ くまむら地域再生協議会（球磨村）

## 宮崎県（2地区）

- ㉓ 酒谷地区むらおこし推進協議会（日南市）
- ㉔ 東米良地区1000年協議会（西都市）

## 鹿児島県（2地区）

- ㉕ 北山校区コミュニティ協議会（姶良市）
- ㉖ 天城町地域づくり協議会（天城町）

## 関東

## 長野県（3地区）

- ㉗ 戸隠地域づくり協議会（長野市）
- ㉘ 小谷村農村地域づくり協議会（小谷村）
- ㉙ 秋山郷地域づくり協議会（栄村）

## 北陸

## 新潟県（2地区）

- ㉚ かみさた地域むらづくり協議会（見附市）
- ㉛ （一社）柳池農業振興会（上越市）

## 富山県（5地区）

- ㉜ 黒瀬谷KIRARI活性化協議会（富山市）
- ㉝ 速川地区まちづくり協議会（氷見市）
- ㉞ 大堀屋地域づくり協議会（南砺市）
- ㉟ 釜ヶ淵みらい協議会（立山町）
- ㊱ 東谷活性化協議会（立山町）

## 石川県（2地区）

- ㊲ 能登島地域づくり協議会（七尾市）
- ㊳ 鉦打ふるさとづくり協議会（七尾市）

大川原  
粕毛  
酒田日向  
宮城県  
福島県  
勢和  
本山

## 近畿

## 滋賀県（2地区）

- ㊴ 羽ばたけ鮎河自治振興会（甲賀市）
- ㊵ 桜谷地域農村RMO推進協議会（日野町）

## 京都府（3地区）

- ㊶ 中六人部地区農村RMO事業推進連絡協議会（福知山市）
- ㊷ 宇川連携協議会（京丹後市）
- ㊸ 与謝地域山村活性化協議会（与謝野町）

## 奈良県（1地区）

- ㊹ 葛城山麓地域棚田振興協議会（葛城市）

## 和歌山県（1地区）

- ㊺ 秋津野地域づくり協議会（田辺市）

市町村	事業実施主体
花巻市	たてまち地域づくり協議会
遠野市	土淵町農村活性化協議会
奥州市	伊手農村農業活性化協議会
〃	星の広場
〃	南股まちづくり協議会（仮）
川崎町	はせくら地区活性化推進協議会
加美町	鹿原地区コミュニティ推進協議会
にかほ市	麓のカラコ協議会
藤里町	ふじさと粕毛地域活性化協議会
三種町	下岩川地域づくり協議会
酒田市	日向地域づくり協議会（仮）
〃	大沢わぐわく未来協議会（仮）

## 東北

## 岩手県（4地区）

- ① たてまち地域づくり協議会（花巻市）
- ② 土淵町農村活性化協議会（遠野市）
- ③ 伊手農村農業活性化協議会（奥州市）
- ④ 星の広場（奥州市）

## 秋田県（2地区）

- ⑤ 麓のカラコ協議会（にかほ市）
- ⑥ ふじさと粕毛地域活性化協議会（藤里町）

## 福島県（1地区）

- ⑦ チームさすけネットリょうぜん（伊達市）

## 東海

## 岐阜県（1地区）

- ㉑ 加子母むらづくり協議会（中津川市）

## 愛知県（2地区）

- ㉒ 岡崎市下山学区地域づくり協議会（岡崎市）
- ㉓ しぎしまの家運営協議会（豊田市）

## 三重県（1地区）

- ㉔ 勢和農村RMO協議会（多気町）

● モデル形成支援地区（R4着手）28地区

● モデル形成支援地区（R5着手）28地区

■ 都道府県伴走支援（R4着手）7箇所

■ 都道府県伴走支援（R5着手）6箇所

赤字は「デジ活」中山間地域登録エリア

モデル事業地区だけが農村RMOではない！組織ではなく実践がポイント！



# 61-5 農山漁村振興交付金（中山間地農業推進対策）のうち 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

【令和6年度予算概算決定額 8,389（9,070）百万円の内数】

## <対策のポイント>

中山間地域等において、複数の集落の機能を補完する農村RMOの形成を推進するため、むらづくり協議会等が行う実証事業やデジタル技術の導入・定着を推進する取組のほか、協議会の伴走者となる中間支援組織の育成等の取組を支援します。

## <事業目標>

農用地保全に取り組む地域運営組織（100地区〔令和8年度まで〕）

## <事業の内容>

### 1. 農村RMOモデル形成支援

むらづくり協議会等による地域の話合いを通じた農用地保全、地域資源活用、生活支援に係る将来ビジョン策定、ビジョンに基づく調査、計画作成、実証事業等の取組、デジタル技術の導入・定着を推進する取組を支援します。

【事業期間：上限3年間、交付率：定額（上限3,000万円（1,000万円（年基準額）×事業年数））】

### 2. 農村RMO形成伴走支援

農村RMO形成を効率的に進めるため、中間支援組織の育成等を通じた都道府

## <事業イメージ>



## 農村RMOとは...

簡単に言えば、

日本型直払の集落協定と

集落の生産組織、自治組織、福祉組織な

どを「一体的に」運営すること

=ヒト・モノ・知恵・財源の融通

ただし！大事なのは組織形態や実施事業

よりも地域でしっかり話し合い

「将来ビジョン」を描き実現すること

### 農村RMOモデル形成支援



### 農村RMO形成伴走支援

【都道府県単位の支援】



中間支援組織による人材育成研修

【全国単位の支援】



農村RMO研究会による情報・知見の蓄積・共有、研修等の支援

【お問い合わせ先】 農村振興局地域振興課（03-3501-8359）

複数の集落による集落協定や農業法人など農業者を母体とした組織と、自治会、社会福祉協議会など多様な地域の関係者とが連携して協議会を設立し、農村RMOの活動の基本となる農用地等の保全、地域資源の活用、農山漁村の生活支援に係る将来ビジョンを策定し、これに基づき各事業を実施。



**集落協定の有無の確認、働きかけが基本が  
2025年が中山間直払の更新時期で働きかけが急務**

**中山間地域等直接支払、多面的機能支払による共同活動、組織的活動の下地**

※ 地域運営組織が展開する活動は多種多様であり、法人格を持たない任意団体（自治会・町内会、自治会等の連合組織など）をはじめ、NPO法人、認可地縁団体、一般社団法人、株式会社、合同会社など多様な法人制度を活用。

**一般RMOの弱点＝補助金頼みとやらされ感を農村RMOで乗り越える  
農村RMOには元々やってきた+稼ぐ活動があるbutその分無償の新規活動には抵抗感**



# 直払を集落営農経営に組み込み農外事業拡大

## 出雲市佐田地区窪田の農村RMO

集落営農の法人化B(80戸30ha、2003年)

→市委託外出支援(1人月2回まで)と配食サービス(毎日朝夕)=通年雇用の柱  
→除雪・機械整備、さらに育苗+育苗ハウス利用、事務受託、林業にも  
+畦畔除草に羊を導入→癒しと毛織物+直払でのインターン受入



昭和の旧村(窪田)単位で多面支払の組織を一体化(170ha)=年2000万円  
→労役負担だけでなく未来への投資が可能に (例)畦畔防草加工

2階建てのうえで

A法人=有機による農の付加価値化  
B法人=農外事業による経営安定化

集落営農の法人化A(60戸30ha、1998年)

→中山間直払を財源に新規就農者の受け入れ

→エコファーマー、GAP、有機JAS認証による付加価値化



# 窪田を含む佐田地区での農村RMO





# 集落営農の3階建てと 農村RMO

## 3階建て方式

共同販売・共同購入  
共同作付計画、スタッフ・機材の融通 など

集落支援

集落営農

農外事業

農村RMO

除雪・移送・配食等

環直の組合せ

環境保全の実効性を確保する集落営農

2階建て方式 有機による高収益化

行政や消費者・取引先  
からも支援

集落協定  
(多面・中山間)

森林多面の組合せ  
+ 粗放的利用導入

農地・林地の境を超える

# 地域づくりのプロセスの描き方

踊り場に来たとき、現場から  
アイデアが次々出るようにしたい

気候変動やグローバル化  
に順応する踊り場

理想  
+ 寄り添い

主語は住民→住民も行政も

ありたい  
姿探し

将来像  
目標共有

試行錯誤

小さな  
成功体験

仲間づくり  
team building

組織的  
事業展開

かけた時間は  
費用ではなく資本

中越復興では  
3-5年で分岐点

地域力  
地域の盛り上がり

時間

危機感  
+ 補助金

課題探し

補助事業

形式的  
組織化

補助切れ

事業疲れ

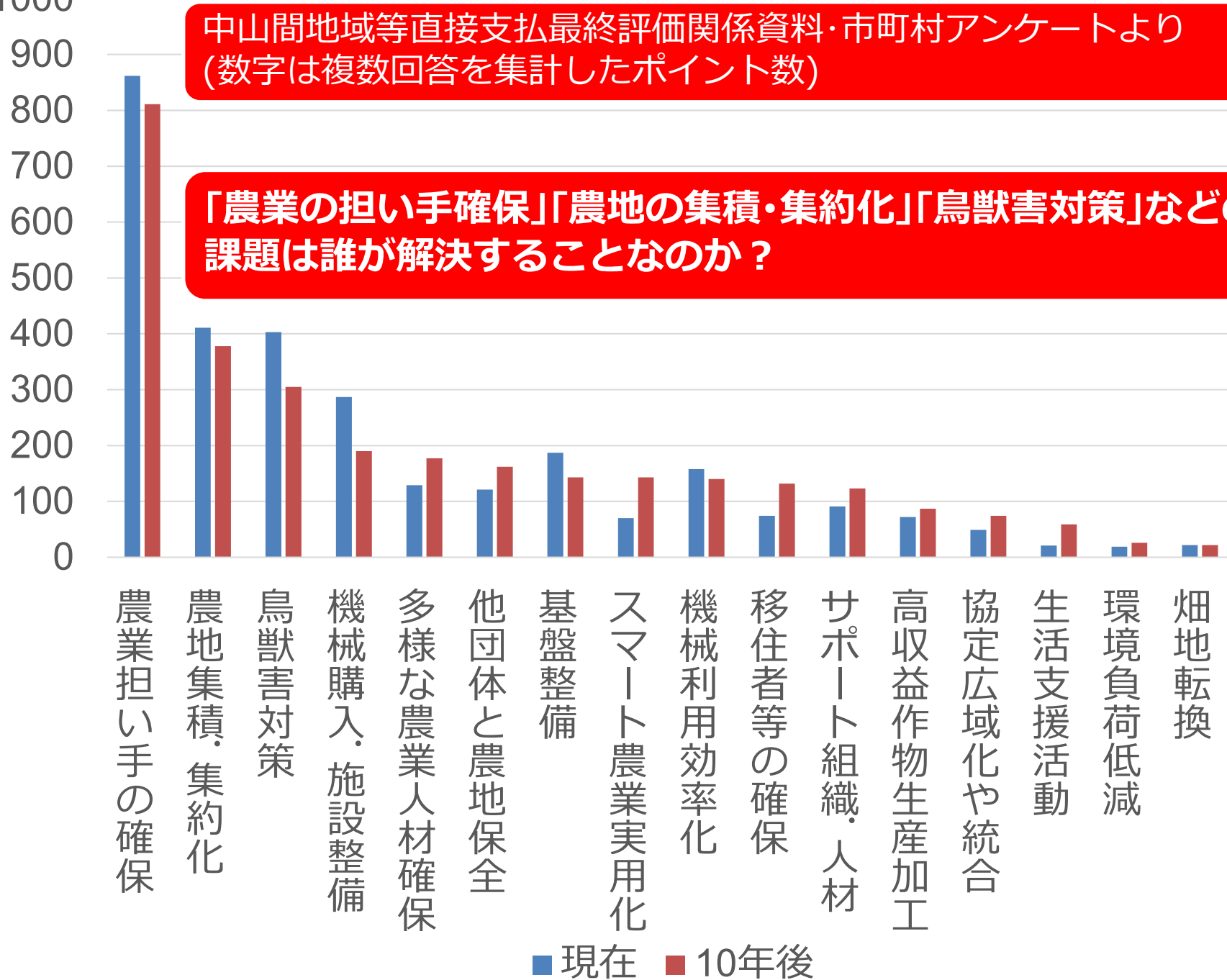
目標喪失

倍の諦め



中山間地域等直接支払最終評価関係資料・市町村アンケートより  
(数字は複数回答を集計したポイント数)

「農業の担い手確保」「農地の集積・集約化」「鳥獣害対策」などの  
課題は誰が解決することなのか？

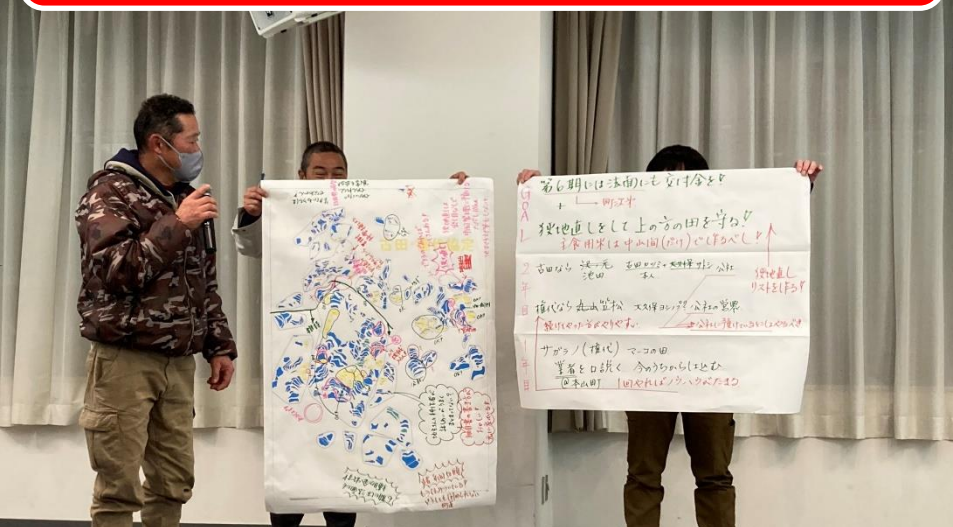




①隣の他者の夢=本音を聞き出す  
DIALOGUE on DREAM



②他者の夢を共有しみんなの夢を決める  
DESTINE on DREAM (シール投票)



④身の回りの状況を夢の実現にいかすための物語=5W1Hをつくる  
DESIGN for DESTINED DREAM



③身の回りがどうなってるか確かめる  
(農地管理状況など)DISCOVER





①隣の他者の夢=本音を聞き出す  
DIALOGUE on DREAM

②他者の夢を共有しみんなの夢を決める  
DESTINE on DREAM (シール投票)

👉 課題は誰かが解決してくれること。夢は自分が目指すもの。  
個人の夢を話し合いでみんなの夢にできれば、自分事が地域事になる。

👉 まず似顔絵を描き合うことで気分がほぐれる→左脳でなく右脳が働くとの声  
ニックネームを聞き合うことで肩書ではなく家族のような関係に  
→行政への要望・苦情を言いに来た方が「しょうちゃん」「お父さん」になる

👉 経験上、どんな方でも「こうありたい」という声は必ずある  
特に不満・不安ばかりという状況ならば、まずは不満・不安を聞いてもいい  
→できれば核心的な不満・不安にまず応えられれば動き出す  
(例)うちのムラは電波が入らないから若い人がいやがる→電波を立てる  
うちのムラは下水が通っていないから→格安の合併浄化槽、規制を見直す

# 夢語りのシートは地域の財産になる

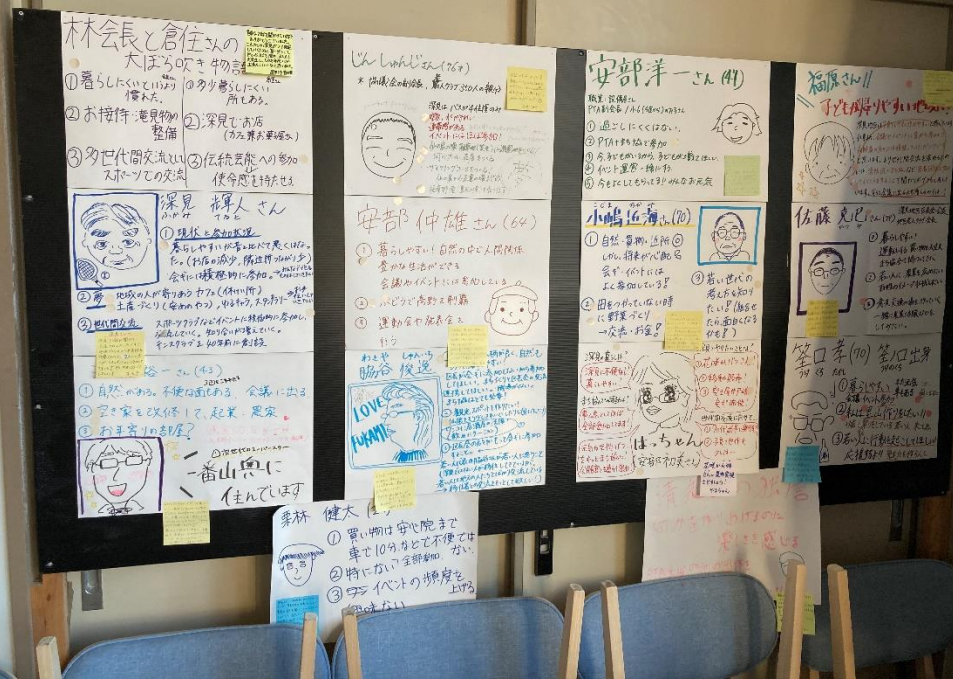
宇佐市深見地区での試み  
ぶどうの6次化「百笑一喜」  
グリーンツーリズムで著名。

でも互いの夢を語り合うのは  
初めてだった。。。



3年後訪ねてみると...  
公民館に貼り出され  
思わぬところから実現も。  
新たな仲間の夢も。

他人ごと→自分ごと→地域ごと



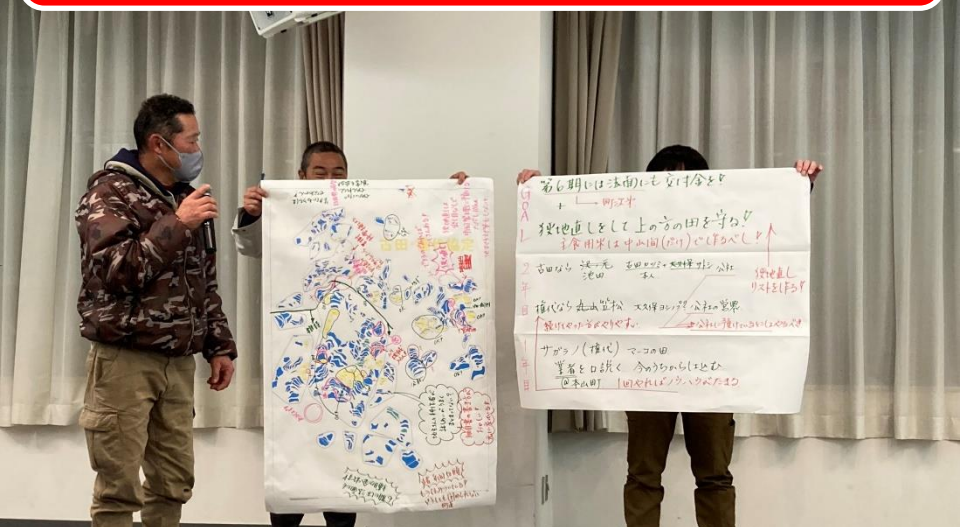




畦の草刈が大変だ



畦の草刈が続けられるようにしよう



- ・ 神刈を入れる・草が生えにくい植栽
- ・ 農家でない人や地域外の人でも楽しく参加する枠組みをつくる



どこが、どれくらい大変なのか確かめる



黒石市大川原地区1655a



田植機・収穫機、草刈機  
などの共同利用組合



車で10分ほど離れた温泉旅館から  
そばの作付けを依頼



そば用の播種機や製粉機も  
共同利用組合で導入



集落で年2回の意見交換の場が  
30-40代の住民の意見から  
有機栽培に取り組むことに



中山間直払の棚田地域加算で  
ドローンや防草ロボ、水位センサー  
なども導入



そばから有機JAS米へ翌作から転換  
そばの有機JAS認証にもチャレンジ

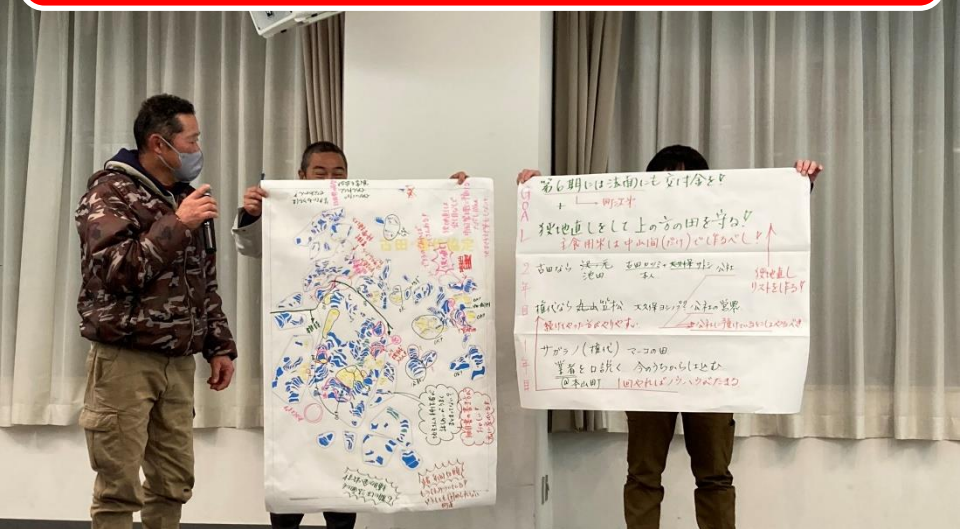




米が安くてやっていられない  
そばのままでは交付金がもらえない



農産物や農地でもっと稼げるように



- ・特裁や有機JASに挑戦する
- ・地域外の人たちを招いて買ってもらう
- ・貸農園を開く



どこで何ができて、どこがうまいのか  
どこが大変なのか



平内町全域



若手農家有志で集まり  
何気ない情報交換を年3回



転作&趣味で栽培している枝豆を  
在来作物の「毛豆」に転換



晩播のため枝豆収穫期が米とかぶるが  
学生の手伝いと急速冷凍導入



枝豆として仲間の農家レストランや  
町野夏祭りで販売



本業のコメでの共同として  
国天然記念物指定の白鳥(飛来地)を  
いかした米づくりへ



新たな制度=みどり認定を共同で受け  
給食への採用や環直の需給を目指す

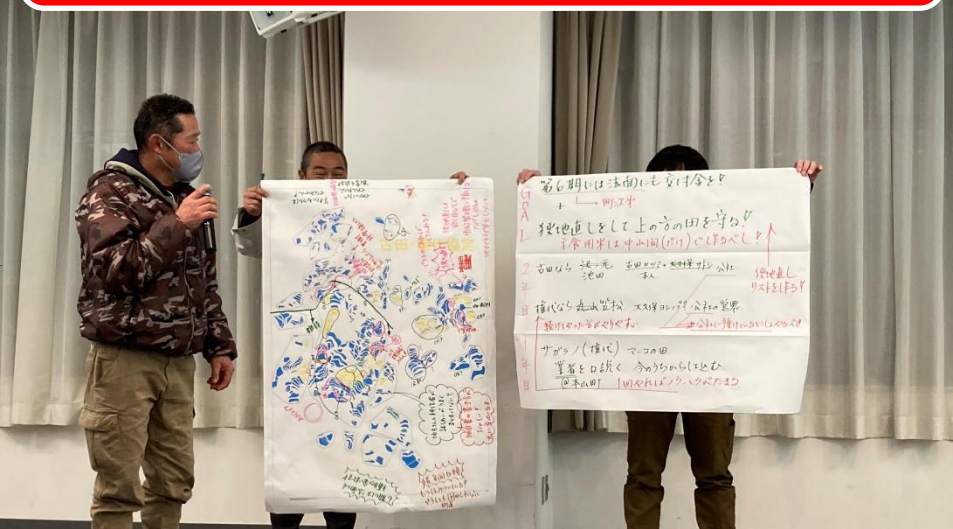






獣害で困り果てている

ケモノに負けないムラでありたい



・柵の整備・ジビエの活用・草刈、枝落  
としての励行で干渉地帯を・獣とつきあう  
農:竹、彼岸花、山菜、しし米

どこでどんな獣害がひどいのか  
獣害にやられないものはないのか



## 佐井村川目地区38a



何を作ってもサルに食われる  
サルに負けないを目標に話し合いを



農家さんどうしの情報交換の場で  
サルに食われにくいものが見つかる



農家さんたちが出荷する直売所で  
つくりたいものの勉強会を重ねる



隣の地区や自治体からの通い農の人  
4名が農地を引き受ける  
&栽培指導の学びの場ができる



収穫祭 野菜を使った地元の食  
&特産の魚を使ったさつま揚げ



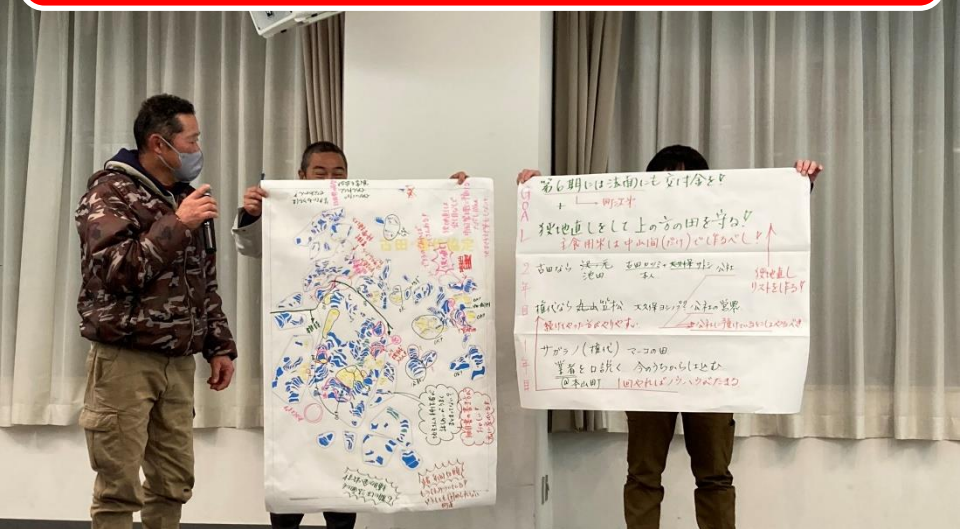
80年代に賑わった山菜加工センターが  
新たな衛生基準に集団対応する受皿に





このままではどんどん耕作放棄が増える

農地を荒らさずに未来に受け継ぎたい



- ・直払の事務負担の分担・軽減
- ・草／獣との付き合い方
- ・非農家、地域外の人たちとの楽しみ方

どの農地、誰の所有地で荒れそうか  
草刈なのか、獣害なのか、担い手なのか



出雲市須佐地区488a



斜面が竹で覆われる  
森林組合職員が退職し集落の世話を



空気清浄機メーカーからの依頼で  
炭焼き窯の跡をいかして竹炭に



炭だけでなくチップーでパウダー化  
発酵させて田にすき込む



田も維持できない  
別のメーカーに依頼され  
精油用のクロモジを田に植える



山から選抜したクロモジを育て  
空き育苗ハウスで乾燥して出荷



ノウハウを地区全体で共有する場が  
& 地域で加工までできるように  
畦の防草加工も直払で行う話し合いに





**鶴岡市温海地区  
山からのワビを選抜して  
ポット苗で増やし放棄田へ**

**ワビはイネ科草本より強く  
草刈の手間が要らない**

**観光ワビ園だけでなく  
端境期市場出荷で高収益に**

**クロモジも放棄田で栽培可能**

**出雲市佐田地区でも  
山で取った実生の苗を選抜**

**育苗ハウスで干して出荷**

**南会津町でもアロマオイルに  
クロモジ枝葉1kg→5ml**





# 月山筍を休耕田で栽培。出身者や都市住民との貴重な絆へ

25

## 山形県鶴岡市旧朝日村大網地区



約100世帯、400人の集落  
→東京大網会が毎年約50人学芸会に  
→'16.3小学校廃校 大網会訪問は継続



「小さな拠点」づくり始動  
☑大網会を基礎に「物産会員」制度導入  
☑廃校にゲストハウス機能を導入



物産の核の生産がおぼつかない

耕作放棄地の再開に「会員」参加



他出者以外から「会員」を募る  
ツアー・プログラムを連続開催

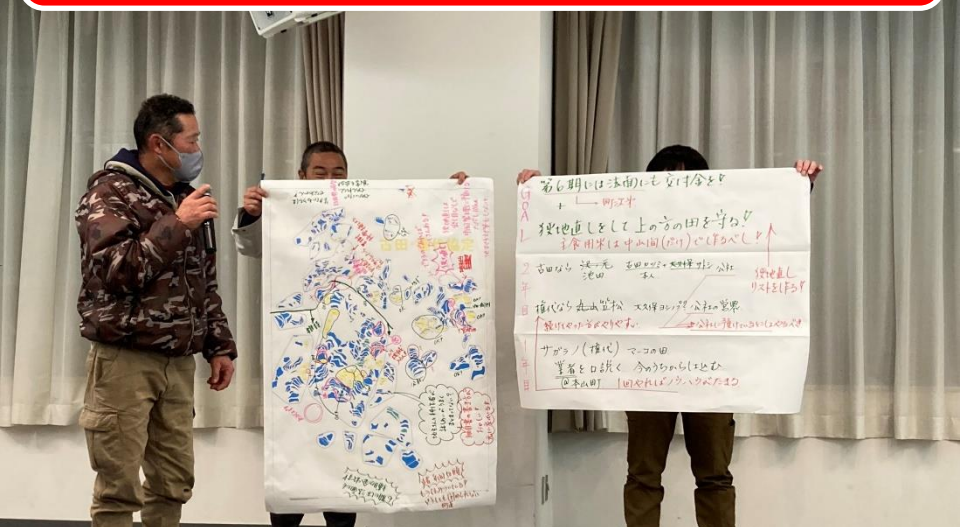




免許返納しても安心して暮らしたい  
隣り町に透析に通いたい



住み慣れた家で暮らせるように



- ・子ども/お年寄り、人/荷物を一体的に
- ・中山間でもタクシー代を支援
- ・移動販売の帰り荷で農産物を出荷



どこでどんなニーズがあるのか  
どのルートならば行けそうか

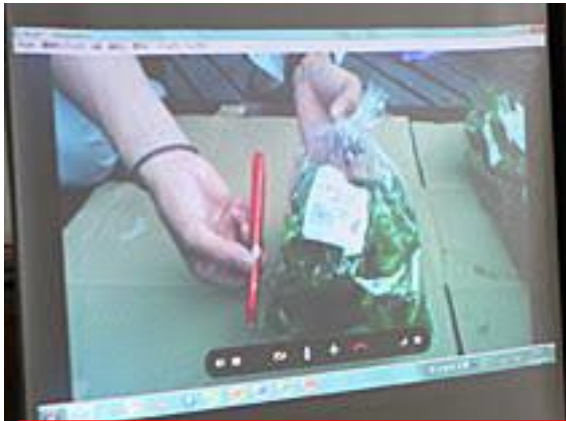


# 弱者扱いしない！地域づくり

27

## 横浜町など 集いの場でのお買物

直売所とテレビ電話を結ぶ。女性にとって買物が一番の脳トレ。



## 地域

買物弱者

生産者

送迎

集荷

月50万円

移動販売

日販12-13万円  
2時間圏内

COOP  
AOMORI  
コフ.あおもり

COOP  
青森県民生協

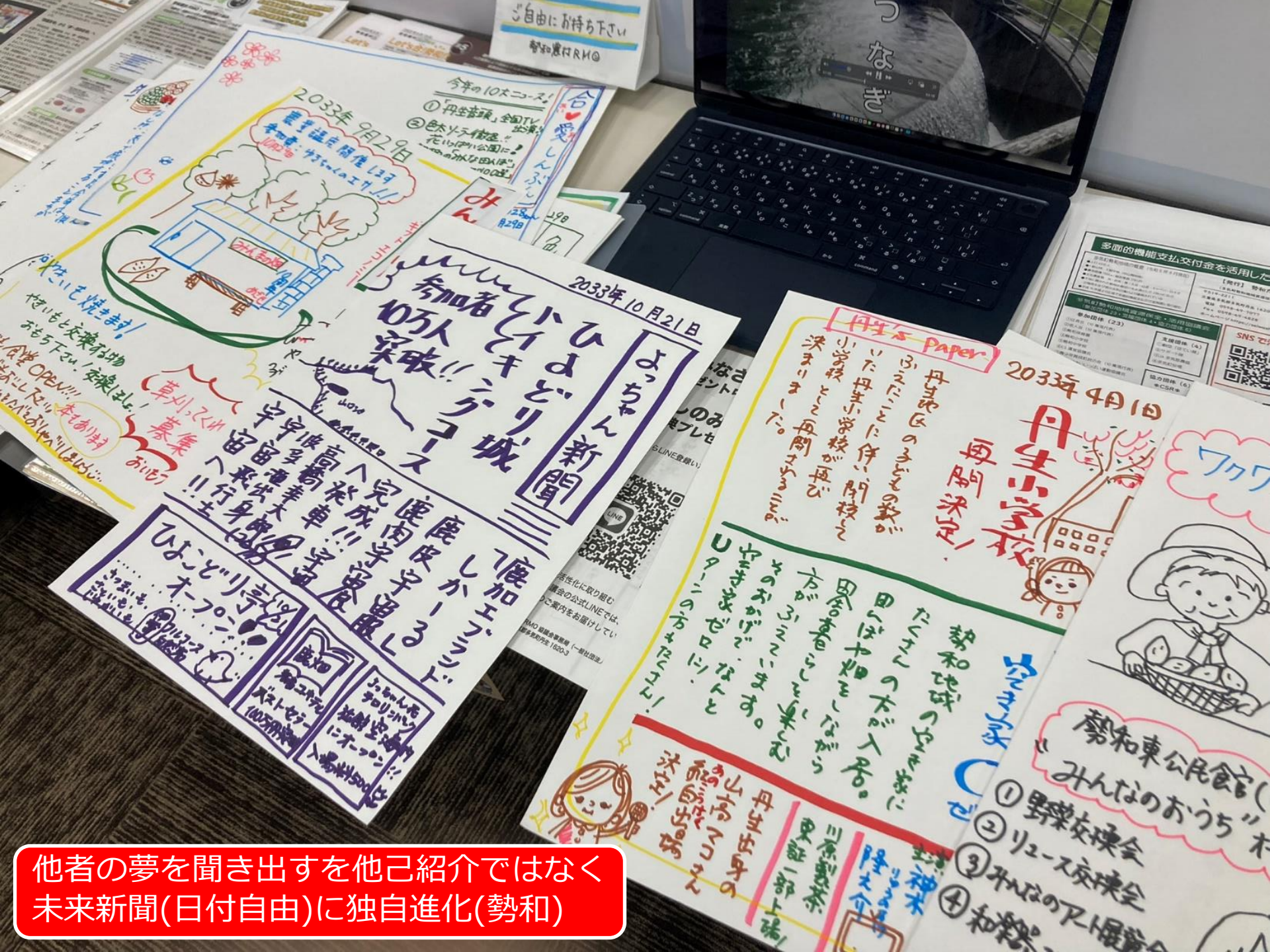


## 横浜町・中泊町など 産直集荷・配達

全国の産直で、生産者の高齢化対応で、集荷を強化。配達などを合わせて行い運営費負担をできるだけ軽く。特に集いの場を集荷・配達のもにすることが効果的。

集いの場での餅づくり（佐井村）、お茶っこ費用をメルカリで稼ぐ（三沢市）





自由にお持ち下さい  
令和東RMO

今年の10大ニュース  
①「丹生香」全国TV放映  
②色太リイ教室  
花いばり公園に  
令和東RMO  
10月21日

2033年 9月29日  
丹生香  
参加者1万人突破!!  
ひよどり市  
令和東RMO  
10月21日

2033年 10月21日  
ひよどり市  
参加者1万人突破!!  
ひよどり市  
令和東RMO  
10月21日

2033年 4月10日  
丹生香  
参加者1万人突破!!  
ひよどり市  
令和東RMO  
10月21日

勢和東公民館  
「みんなのおうち」  
① 野菜交換会  
② リース交換会  
③ みんなのPT会  
④ 和菓子

他者の夢を聞き出すを他己紹介ではなく  
未来新聞(日付自由)に独自進化(勢和)

**WSに若い世代、  
××が来てくれない**



# 清流に人情燃える里づくり

20/6/24 23人多世代(男性のみ)WS:若手=消防団に召集

## 実現して継続

- ②流雪溝整備
- ③カメムシ  
/クマヘビハチ駆除
- ④花壇整備
- ⑤街灯整備
- ①⑦集落案内板整備
- ⑫火流しの保存

もう限界

やれるだけ  
でいいんだ

## 実現したが中絶

- ⑩加工品開発・販売
- ⑨圃場・農道整備
- ⑮ふれあい農園
- ⑯トイレ整備
- ⑬老人の憩いの場=温泉
- ⑬子どもの遊び場=廃校
- ⑱せせらぎ整備

## 実現せず

- ①信号設置
- ⑥くうかん鳥
- ⑦生活道路整備
- ⑧温泉の活用
- ⑫保養所整備
- ⑭露天風呂
- ⑳つり橋整備
- ⑲欠→次世代への贈り物

村の将来=少子化対策に  
つながるようにしたい

雪とか田んぼとか  
あるものを生かしたらどうか

好きなようにや  
ればいいんだ

××に来させるのではなく、  
××が集まっている場に行く  
集まれるような場をつくる  
地域に根ざした食やゲームが鍵

ばらばらに声を集めて  
事務局が整理するより  
やはりみなが集まってすり合わせた方がよい



30-40代も「耕作者」としてメンバーに

指導

市内の有機農業法人(40代)

販売

市内の観光業者(地域内そば屋)

若者・よそ者に関く

棚田協議会

関係のないよう  
なWSでも耳に  
はさめば自ずと  
関わりが

作付  
計画

デマンド  
タクシー

販売

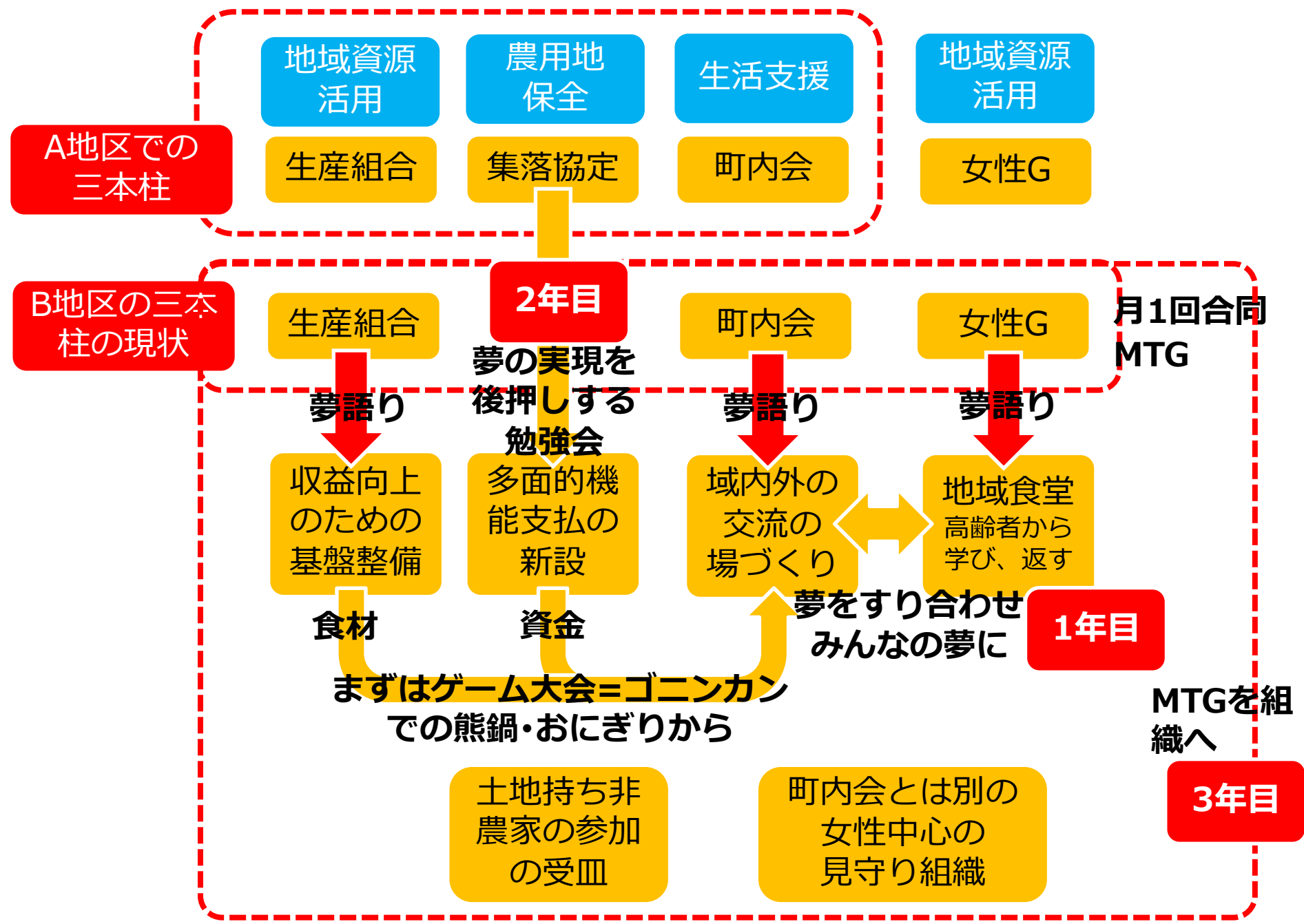
生産組合  
機械

町内会  
温泉

集落協定  
直払

一体運営

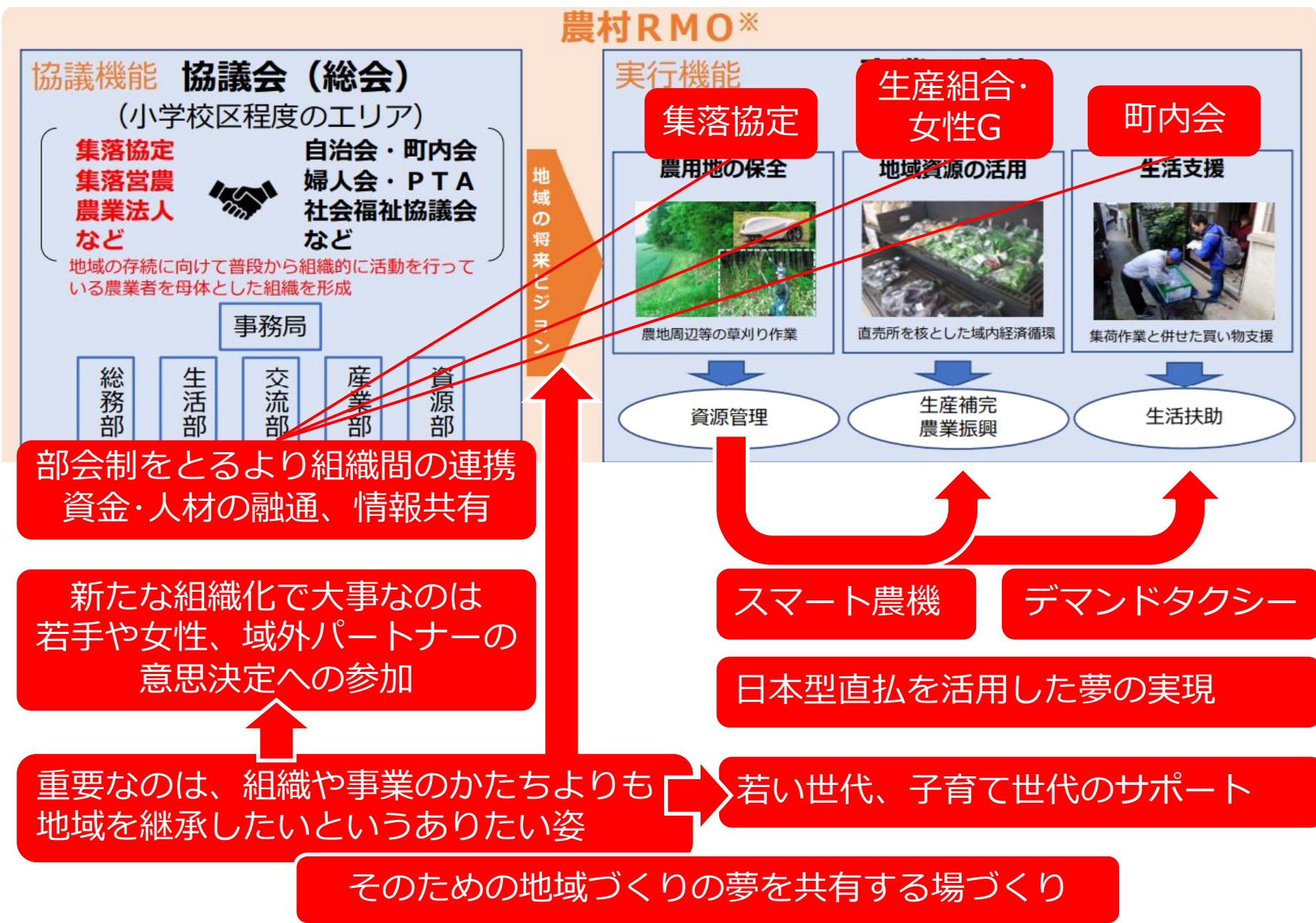
ドローン貸付





# 組織や事業ありきでなくありたい姿から

34



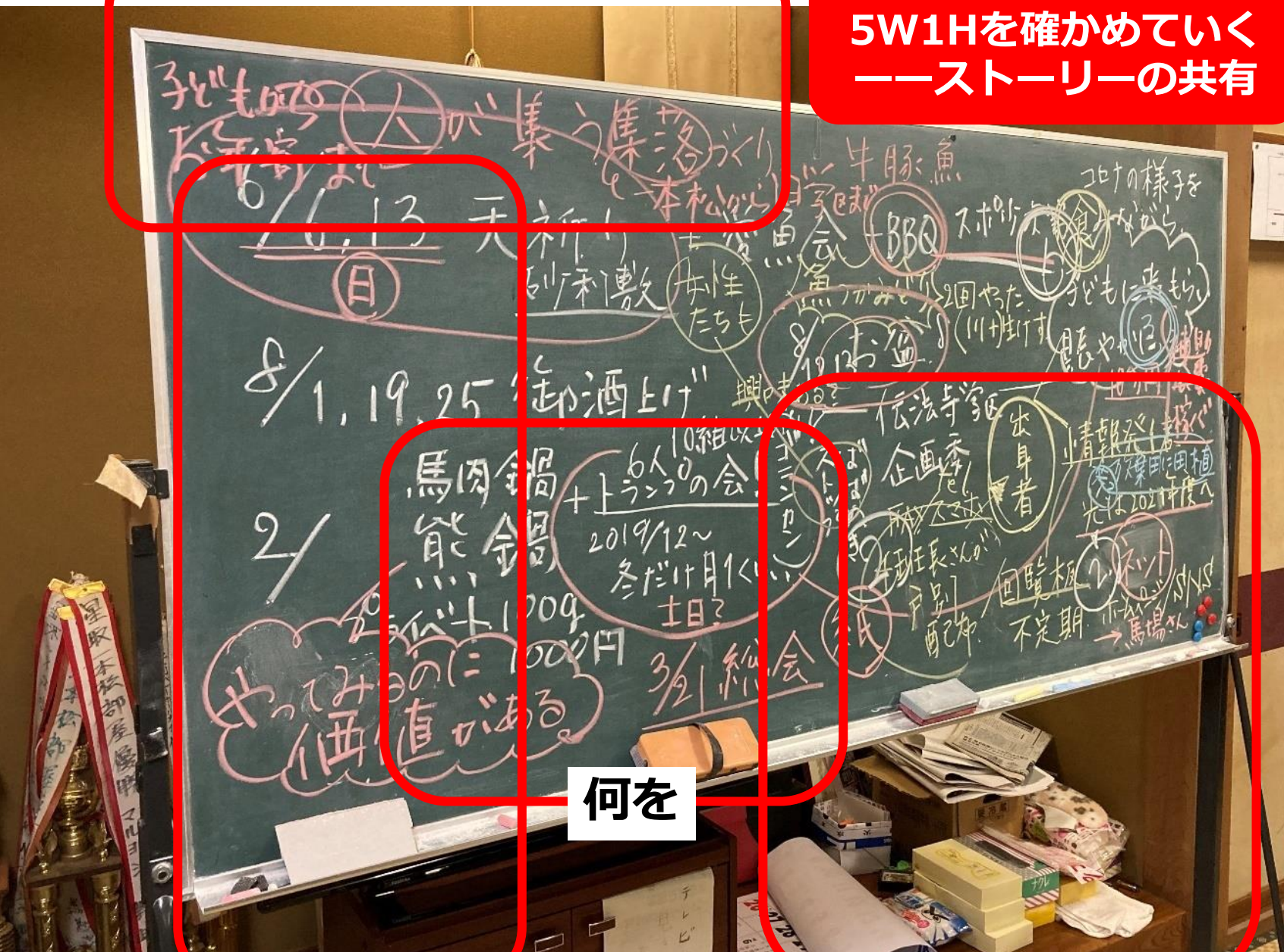
**夢を語れるのか？  
不満や不安の裏返しが夢になる**

**夢を語っていて暴走しないか？  
5W1Hを確認していくと  
自ずと落ち着くところに落ち着く**



なんのために

何かを決めるには  
5W1Hを確かめていく  
——ストーリーの共有

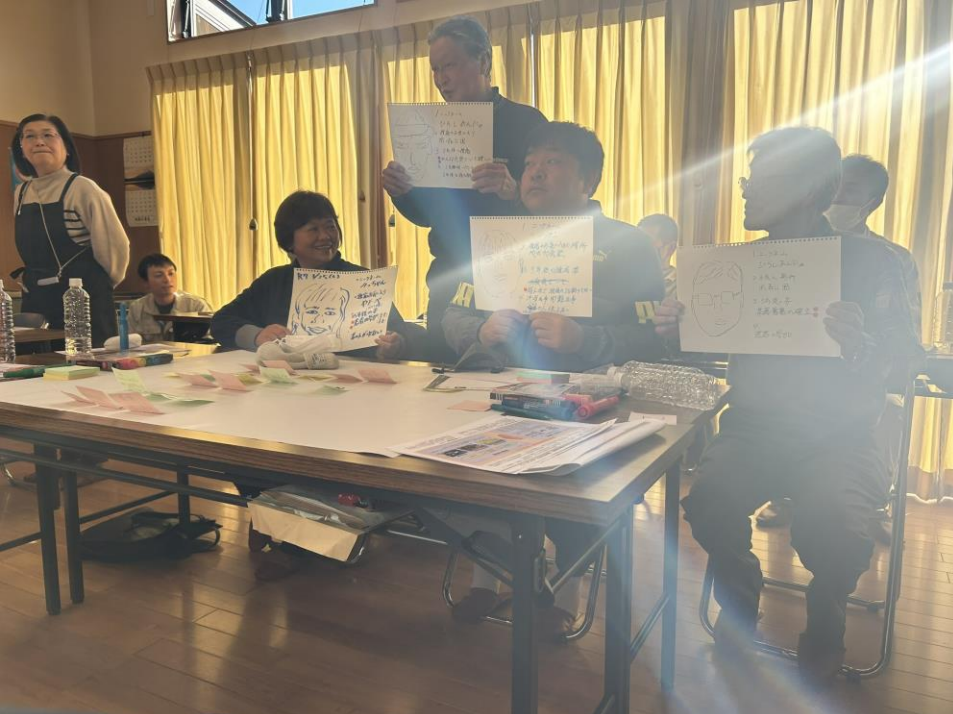


何を

いつ

誰が、誰に、どうやって





5年後の夢を語るところから  
では4年目には何を  
3年目には何を  
。。。1年目=すぐ何を  
やれるかが話し合える

声かけしていただき若い世代や女性も。  
昼におにぎり、豚汁を一緒に食べる。

1回目は「コンビニ」、「農業収益化」  
など???な夢も投票結果ならあえて残す

➡ 2回目以降「誰」がやるの?を考えて  
ゆくと自ずとこなれてくる

\* コンビニオーナー誘致→接待  
→谷田部食堂を充実

\* コメのブランド化→甲子園  
→まず研修に行ってみよう

➡ 2回目以降「誰」を連れてくる  
→谷田部のマチ子さん  
→マチ子さんは地域のファンも把握





## 福島県国見町・歴史まちづくり

原発災害からの復興を願った「懐かしい未来づくり」

度重なる地震で打ち捨てられた石材加工の技術をいかした窯の再生

今度はいつイベントあるんだか？

一人暮らしのお年寄りを訪ね誕生日を祝う子どもたち


こんなにうれしい誕生日は久しぶり


史料館として再生した旧小学校に、古写真や文集を持ち寄る


いつ来ても誰かに出逢える史料館  
LINEも駆使した同窓会つながり  
子どものためのぞろ目のイベント  
→low priceなのだがpricelessな  
県を超えたふるさとづくりへ




# ありたい姿から始める地域づくりを支援する

 農政が食料安保(コムギもコメも足りない！)を軸に大転換しようとしている  
→振り回されないためにも、現場のありたい姿を見定め、さまざまな施策を現場から積極的に横断し総合化していきたい

 危機感をてこにした課題解決型の事業は、ありたい姿が共有されていないと、行き詰まりやすい  
ありたい姿から始めれば、壁にぶつかっても、現場から代案が次々が出る  
→そのためにも、課題＝解決策(事業)ありきではなく実のある話し合いを重ねる  
——ちょっとした発言も拾われ、カタチになる繰り返し 「言ってみるもんだな」

 話し合いでは「Yes, but＝そうですよね！ほかに何かお気づきのことは？」と  
まずは現場の声を尊重し、そのうえで別な可能性もつねに目配りしたい  
→関心と敬意を持って臨んでいるかはすぐに伝わる。  
現場の人たちも情報のチャンネルが豊かなので支援者側も学びを深めたい。  
→知らないことが罪ではなく、それはどういうことですか？と  
関心を込めた「更問い」ができるようにしておきたい。

 集まってもらう、のではなく、集まりに出向く、集まりをしつらえる  
→集まりの鍵の1つは、地域に根ざした食やゲームの場  
ただし本当に意味のある場だと思ってもらえれば、必ず集う、集いつづける  
→次に来てもらう、誘い合ってきてもらうために1回1回が勝負  
どれだけ意見が言えたか、「聞かれたか」の手応え次第



# お隣の方のニック ネーム

①お隣の方(担当)地域の  
一押しの味は？食は？

②5年後のお隣の方(担当)  
地域はこうあってほしい

③お隣の方の地域の  
こうありたい姿の  
最大の壁は？



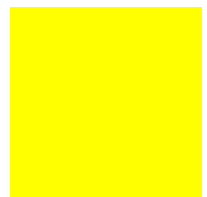
**自分たちで1筆ごと確認しよう**



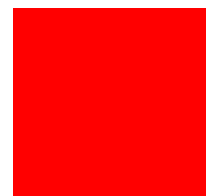
## 耕作者の年齢別



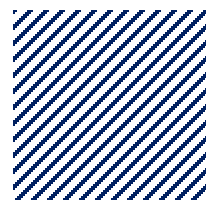
60代以下



70代



80代以上

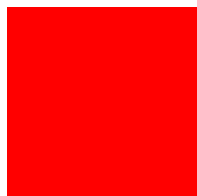


耕作放棄

## 作目別



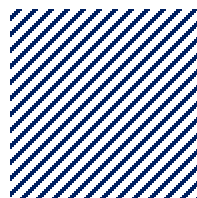
水田



樹園地



畑(野菜)







耕作放棄

 地図に耕作者のプロフィールも転記しましょう

 ちょっとした気づきを出し合いましょう

- ・ どのような人が、どのようなものが多い／少ない
- ・ どうしてこんなものが？あれはどうなってる？
- ・ 若手が多い？少ない？なぜでしょうか？

- ・ 地図記号を1つ1つ確認しながら、  
利用    施設、将来に不安が残る施設など  
 とは？

- ・ 空き家はありませんか？



- ・ **農地管理：平場の圃場整備地による集約と受入  
傾斜地をどうしていくか**
- ・ **果樹のブランド力：温暖化や豪雨多発で大丈夫？  
水稲の機械更新、水稲・野菜の有機転換は？**
- ・ **UIターンはどうやってできた？  
都市農村交流や関係人口は？**
- ・ **空き家はどうする？**
- ・ **除雪は大丈夫？**
- ・ **お年寄りの足や子どもたちの足は大丈夫そう？**

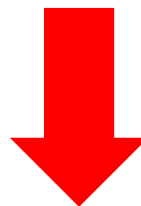
**10年後の理想像を描こう**  
**どこがどうなっていたらよいか**



傾斜地にも新規就農

空き家のマッチング

地図の上に  
おおまかな5年後  
の理想像を書こう



数が多ければ  
投票で絞ろう

小中学校で農の教育

間口除雪は  
共同で

寺 家 (2018年7月現在)

90代
80代
70代
60代
59歳以下
空家オーガニックファーマーズ
空き家

# 理想像を実現するストーリーをつくろう



耕作者リストを熟読し、  
キーパーソンを想定してゆく。

## いつまでに 誰が何をする

5年後

RMO  
が

空き家マッ  
チング

3年後

親と  
学校が

農の教育

2年後

有志  
と市が

空き家片付  
け・改修

1年後

町内会  
とweb  
得意な  
住民

空き家現況・  
意向調査



# 理想像へのストーリーに名前を付けよう

雪と農を満喫できる子育てならここ！

空き家イキイキ  
プロジェクト

5年後

RMO  
が

空き家マッ  
チング

子育て就農者の  
住まい応援

3年後

親と  
学校が

農の教育

3つのテーマと横つなぎ  
安定的な運営財源

RMO設立

2年後

有志  
と市が

空き家片付  
け・改修

農ある子育て  
プロジェクト

1年後

町内会  
とweb  
得意な  
住民

空き家現況・  
意向調査